

令和2年度 事業報告

1. 概況

現在、我が国では、人口の減少にともない少子高齢化が進み、総人口に対し65歳以上の人口が占める割合は現在28%となっており、2060年には40%近くになることが予測されています。

こうした状況の中で、高齢者の就労意欲は高く、内閣府が実施した「高齢者の経済生活に関する調査（令和元年度）」によると、働いている60歳以上の人の9割近くが、70歳以上まで働きたいと考えています。

今後、労働力人口の減少が懸念される中、働く意欲のある高齢者がその知識や経験を活かし、活躍し続ける「生涯現役社会」を実現するには、働きたいと願う高齢者の就業率を上げていくことが重要であり、その受け皿であるシルバー人材センターに対する地域社会の期待は一層大きなものになっております。

当センターは昭和57年、県下7番目のセンターとして設立し、公益社団法人へ移行して9年が経過する現在、センターを取り巻く環境は大きく変化しており、公益法人としての組織運営、増加する事務量、適正な受託契約、派遣事業への参入、会員数の伸び悩みなど、課題が山積しています。

令和2年度は、会員数や契約金額の伸び悩みに歯止めをかけるべく、会員及び職員が一丸となって「会員拡大」及び「就業開拓」等、積極的に事業展開を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、入会説明会の中止や就業の中断・縮小、営業活動が制限されるなど、厳しい状況でありました。

このような中、令和2年度末の総会員数は会員の皆様による口コミ等の普及啓発活動や広報いちほらへの掲載などの効果もあり、前年比14人増の543名となりました。

また、請負・委任業務については、契約件数は4,939件、就業延人数は50,362人、契約金額は283,880千円で前年比9,122千円の増となり、内訳は公共事業39,280千円、一般企業等176,438千円、個人・一般家庭68,162千円でありました。

派遣業務については、契約件数は18件で前年度比1件の減、受託収益1,215千円で前年度比211千円の増加となりました。

賛助会員については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、郵送による勧誘に力を注ぎ、団体・個人を含む9者の賛同を得るに至りました。

その他、市原市と「市原市空家等の適正な管理の促進に関する協定」を締結し、空家管理業務の拡大に道筋を付けるとともに、「市原市シルバー人材センター中期計画」を策定し、今後5年間のセンターの進むべき方向性を示すことができました。

令和2年度は、令和元年度に発生した台風や新型コロナウイルス感染症等の影響を受け厳しい状況にありましたが、市原市をはじめとする行政機関、企業、事業所、そして一般の皆様からの大きな支援をいただきながら、会員の皆様のご尽力により、センター事業の推進と地域社会への貢献につながる事業展開が図れたものと確信しております。

以下、具体的な事業の実施状況についてご報告いたします。

2. 事業実施状況

①普及啓発事業

- センターの事業案内・会員募集リーフレット（チラシ）を増刷し、市内各公共施設や商業施設・企業・事業所等に配布しました。
- センターの会員募集ポスターを新規作成し、公共施設や鉄道駅、商業施設等に掲示しました。
- 令和2年7月及び令和3年3月に、会報「シルバーいちほら」（WEB版）をホームページ上に掲載し、情報の共有を図りました。
- 令和3年3月にセンターのホームページに「女性活躍ページ」を追加し、就業の様子や講習会の開催、募集中の仕事の情報などを掲載することで、女性会員の入会拡大に取り組みました。

②安全・適正就業推進事業

- 令和2年8月、12月及び令和3年2月に「安全・適正就業委員会」を開催し、事故発生状況の共有と再発防止策等について意見交換を行いました。
- 毎年7月に全国展開される「安全・適正就業強化月間」に呼応して、桃太郎旗等を事務局前に掲示しました。
- 安全委員会及び推進員による安全就業の啓発活動や、事故防止の徹底を図るため、担当役員を中心に就業先への安全巡回指導を1回、推進員による安全パトロールを2回実施しました。なお、令和3年1月に予定していた安全巡回指導1回と安全パトロール1回は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止としました。
- 毎月新入会員説明会を開催し「会員のしおり」を解説すると共に、安全教育と交通事故防止策を訴え「シルバー会員傷害・賠償保険」の理解と協力をお願いしました。なお、令和2年4月、5月、及び令和3年1月、2月、3月は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため説明会は中止とし、個別に対応しました。

令和2年度の事故発生状況は、傷害事故1件（前年比5件減）賠償事故が11件（前年比2件減）交通事故3件（前年比3件増）となり、全体的に事故は減少しました。

このような中、交通事故防止対策については、昨年度に引き続き市原警察署と連携し「高齢者の交通安全講習会」を11月に開催しました。多くの会員に参加を頂いたことで、活発な意見交換が行われ、安全意識の高揚につながりました。

なお、作業中の不注意による飛び石のガラス破損や植木剪定時の物損事故などの賠償事故が多く発生していますので、今後も十分な対策と会員各位には細心の注意を払うよう働きかけてまいります。

③調査・研究と相談事業

- 入会説明会開催日に、一般市民や会員対象の相談会を実施し、随時入会

と就業相談に応じました。

- 発注先や会員からのクレームや要望を取りまとめ、事例の分析及び改善点を見直し、今後の顧客対応に反映するよう心掛けました。
- 「市原市シルバー人材センター中期計画」の策定に伴い、「会員・お客様アンケート調査」を実施し、会員522名、企業331団体、一般家庭784戸に調査票を送付し、センター事業に対する意見や要望等を調査しました。

④就業開拓提供事業

- 「広報いちほら」や地域情報誌等の活用や、センター事務所に桃太郎旗を掲げるなど、積極的な呼び掛けを行い、センター事業への参加と入会促進を図りました。

その結果、定年の延長や再雇用制度の影響が顕著になる中、新規入会者数は前年比12名増の100名となりました。

- 令和2年7月から8月及び11月から12月、令和3年2月から3月にかけて、会員が市内全域にチラシ約9,000枚を配布するとともに、令和2年6月から7月及び10月、令和3年2月から3月にかけて、就業開拓専門員4名が会員の少ない地域にチラシ約3,500枚を配布し、就業拡大・会員拡大に取り組みました。

また、一般家庭・企業等への訪問やポスティングを実施し受注開拓に努めるとともに、新たな顧客拡大のため、就業開拓専門員による営業活動を積極的に展開し、新規に屋内外清掃やゴルフ場関係業務等16件の契約を取得し、会員の就業確保に繋がりました。

- 各講習会への参加を積極的に呼びかけスキルアップを図り、意識の向上を促進するとともに、長期就業会員に対してはローテーション就業を推進するなど、就業機会の均等化を図りました。

また、シルバー事業の受託事業は「請負」「委任」及び「派遣」の就業が原則であり、各契約が「適正就業」であるかを確認するなど、就業の再点検を実施しました。

尚、「派遣事業」については、平成27年度より着手しており、今後も増加が見込まれることから、積極的に推進し雇用の確保に努めてまいります。

- 職群班世話人会議を開催し、各就業現場から広く意見や要望を拾い意見交換をするとともに、課題解決に向け支援・協力をお願いしました。

中でも植木班や大型スーパー班では、部会での活発な意見交換により、就業マニュアルや作業要領の作成や見直しを行うなど、着実に成果が得られました。

令和2年度の就業率は80.3%と多くの未就業会員がおりますので、就業機会の拡大に向け、就業開拓専門員と連携しながら積極的に対応を図ってまいります。

⑤研修・講習事業

会員の知識や技能のスキルアップを図り受注機会の拡大及び後継者の養成等に対応するため、当センター及び公共施設等に於いて講習会を実施しました。

なお、開催にあたっては新型コロナウイルス感染症の拡大防止策を徹底するとともに、緊急事態宣言時など感染の状況を鑑み、適宜中止としました。

開催

- 令和2年6月30日
チェーンソー講習会（講義・実技） 参加者20名
- 令和2年7月31日
障子・網戸の張替え講習会（講義・実技） 参加者11名
- 令和2年8月18日
第1回植木講習会（於 市西小学校） 参加者14名
- 令和2年9月2日
第1回草刈機講習会（安全操作・機械メンテナンス） 参加者10名
- 令和2年9月15日
手芸（押し花）講習会（女性部会主催） 参加者10名
- 令和2年11月10日
第1回交通安全講習会（高齢者の交通安全） 参加者20名
- 令和2年11月17日
接遇力向上講習会（講義・実技） 参加者12名

中止

- 令和2年11月12日
第2回草刈機講習会（講義・実技）
- 令和2年12月
チェーンソー講習会（講義・実技）
- 令和2年12月1日～2日（2日間）
施設清掃（クリーンスタッフ）講習会（講義・実技）
- 令和3年2月15日～16日（2日間）
襖の張替え講習会（講義・実技）
- 令和3年2月9日
太巻き寿司講習会（女性部会主催）
- 令和3年3月
第2回交通安全講習会（高齢者の交通安全）
- 令和3年3月
第2回植木講習会（五井小学校）

⑥社会参加活動推進事業

- 会員ボランティア（植木班）により、市内の小学校1校の樹木剪定作業を行いました。
- 役職員及び会員有志によるペットボトルキャップの収集及び資源ごみの回収・分別等を行いました。

⑦市原市シルバー人材センター中期計画の策定

センターが将来に渡り、安定的な運営と魅力ある事業を展開し、高齢者が働くことを通じて、健康で生きがいのある生活の実現と、地域社会の福祉の向上等に貢献するため、現下の社会経済情勢の変化や法令改正等を捉えるとともに、顕在化してきている様々な課題等を踏まえ、今後の事業展開の基本的方向や具体的な取組み等を明らかにする「市原市シルバー人材センター中期計画」を策定しました。

○計画期間

令和3（2021）年度～令和7（2025）年度

○目指すセンター像

「生涯現役社会に貢献する 魅力あるシルバー人材センターを目指して」

⑧市原市空家等の適正な管理の促進に関する協定の締結

市原市と当センターが相互に連携・協力して、市内の空き家等が管理不全の状態になることを防止し、地域の安全確保と良好な生活環境の保全に寄与することを目的とする「市原市空家等の適正な管理の促進に関する協定」を令和3年1月8日に締結しました。

今後、センターではこの協定に基づき、空き家等に対する日常管理業務（見回り・清掃・除草・植木剪定など）を積極的に展開してまいります。

⑨財政基盤の確立

経営の原資は、国や市原市の補助金と発注者が負担する事務費収入です。補助金は厳しい財政状況を背景に見直し傾向にあり、事務費収入は、契約高の伸び悩みからここ数年横ばいの状況にあり、経済的自立性が求められます。

そこで「自主財源」の確保に向けて、就業開拓専門員を中心に受注の拡大に取り組むとともに、請負及び委任契約に係る請求額のうち、納入期限までに入金されなかった未収金を適正に管理するため「未収金管理事務要領」を作成し、回収の徹底に努めました。

また、国・市原市の補助金等を確保するため、市原市長はじめ副市長、保健福祉部への要望活動を継続的に行ってまいりました。

併せて、特定公益増進法人としての利点を活かし、市内の得意先及び協力業者等に、賛助会員としての支援の働きかけを行い、市原商工会議所はじめ9社より賛助会員のご協力を頂きました。来年度も、引き続き継続をお願いするとともに、支援企業・事業所の拡大に向け努力してまいります。

年度末や年度当初の運転資金不足による借入金依存の財政体質から脱却すべく、事務事業の見直しによる経費の節減、効率的な予算執行を心がけ、金融機関からの借入金の削減に取り組みました。

しかしながら、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、就業の縮小や中断、営業活動の制約など、大変厳しい状況となりました。

引き続き、受託事業収入の拡大を最優先に、積極的に新規就業先の開拓等に取り組むとともに、国・市の補助金の確保、迅速な債権回収を推進するなど財源確保に努め、収支バランスのとれた健全な財政基盤の確立に取り組んでまいります。

⑩組織体制の強化

シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」の考えの下、専門部会及び専門委員会活動においては、積極的な活動による自主的運営に取り組みました。

中でも令和2年度は、「市原市シルバー人材センター中期計画」の策定に伴い「中期計画策定委員会」を設置し活発な意見交換を展開することで、今後5年間のセンターの進むべき方向性を示すことができました。

併せて、職群班世話人会議や各部会、安全・適正就業委員会等を開催することで、就業環境の改善や情報の共有・ボランティア活動への参加などを推進することができました。

更には、女性会員の親睦・連携強化を図るため、手芸（押し花）講習会を実施するとともに、活発な意見交換を行うことができました。

その他、令和2年度に配置した次長職が事務局長職を補佐するとともに「中期計画」や「会員・お客様アンケート調査」の実施において中心となって取り組み、成果を上げることができました。